

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		外国語Ⅱ	開講学年	2 年生	2 単位
講師名		板垣 亮太	評価方法	小テスト、口頭試験	
講義					
教科目標					
At the end of this course the students will be able to :					
communicate each other with using technical terms related to prosthetics and orthotics					
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？					
This subject must be useful for the students especially when they attend international congress or when they communicate international CPO in the future.					
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。					
講 義 内 容	1	A little quiet but no problems			
	2	Had to explain a few times but very good			
	3	Did very well. No problems			
	4	Great! Sat and listened quietly and then talked a lot.			
	5	A little difficult today.Textbook activities boring and a few mistakes on print.			
	6	Did really well with textbook and other activities			
	7	Talked a lot,used new vocab spoke a little in Japanese			
	8	As usual ,did well even though topic wasn't so interesting.			
	9	Textbook and first activity on the print was a little difficult.			
	10	Did really well.Spoke basically the entire class talking and kept going for 96min.			
	11	As expected,difficult they did the last(speaking)activity really well!			
	12	As always,they did conversation activities very well.so-so for writing listening and etc.			
	13	A little difficult but they tried hard and got much better with practice.			
	14	Finished last week print they did excellent. Started new print(Rules)difficult but getting better.			
	15	Finished the print. Did speaking activities really well.			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法				
	(例)〇コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。				
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。				
参 考 書	書籍名		著者	出版社	
	P&O English		ILC国際語学センター 滋慶教育科学研究所	ILC国際語学センター	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		運動学		開講学年		2 年生		3 単位	
講師名		加藤 純也		評価方法		試験			
講義									
教科目標									
身体の運動学的基礎を学び義肢装具の目的や使用方法を理解する。									
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？									
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。									
講 義 内 容	1	運動学の位置づけ							
	2	運動と骨・関節							
	3	身体のコ							
	4	上肢帯							
	5	肩関節							
	6	肘関節・前腕							
	7	肘関節の筋群の作用							
	8	手指・手根関節の運動							
	9	股関節の安定と運動							
	10	股関節の運動と筋							
	11	膝関節							
	12	足関節①							
	13	足関節②							
	14	脊柱①							
	15	脊柱②							
	16	脊柱③							
	17	姿勢							
	18	身体重心の計算方法							
	19	歩行①							
	20	歩行②							
	21	歩行③							
	22	運動発達①							
	23	運動発達②							
の理 把握 度	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法								
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。								
参 考 書	書籍名				著者		出版社		

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	人間発達学	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	名畑 理津子	評価方法	試験	
演習				
教科目標 ・人間の発達に関する様々な様子について学ぶ。				
・著名な発達心理学的概念を知る。				
・正常な発達プロセスとその異常について考える。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	発達とはなにか		
	2	発達学で何を学ぶか		
	3	発達の原理		
	4	発達心理学者の思想		
	5	言語の発達過程		
	6	発達心理学のまとめ		
	7	中間レポート発表		
	8	発達障害を知ろう		
	9	発達障害を知ろう② 広汎性発達障害		
	10	発達障害を知ろう③ 学習障害		
	11	発達障害を知ろう④ 支援法		
	12	障害受容のプロセス① エリクソンのライフステージから		
	13	障害受容のプロセス② 様々な死/危機 受容 適応モデル		
	14	総括		
	15	最終レポートについて		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	機能解剖Ⅲ	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	小塚 脩平	評価方法	試験	
演習				
教科目標				
上肢の関節、近位区、基本的な運動を理解する				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	オリエンテーション		
	2	上肢帯の構造		
	3	肩関節の構造		
	4	肩関節の筋と運動		
	5	肩関節の神経		
	6	肘関節の構造		
	7	肘関節の筋と運動		
	8	肘関節の神経		
	9	前腕の構造		
	10	前腕の筋と運動		
	11	前腕の神経		
	12	手関節の構造		
	13	手関節の筋と運動		
	14	手関節の神経		
	15	総括		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	基礎運動学第6版		中村隆一ほか	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	機能解剖Ⅳ	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	平松 大志	評価方法	試験	
演習				
教科目標				
運動調節機構、中枢神経、抹消神経を学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	中枢神経系の構成		
	2	神経組織の興奮伝導		
	3	大脳半球の構成・間脳		
	4	脳幹・小脳構成		
	5	高次脳神経機能		
	6	脳の血管系		
	7	脊髄反射・脳幹反射・伝導路		
	8	感覚性伝導路		
	9	末梢神経系の構成		
	10	上肢の神経		
	11	下肢の神経		
	12	仙骨神経叢		
	13	坐骨神経		
	14	総腓骨神経・脛骨神経		
	15	脳神経と自律神経		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	病理学概論	開講学年	2 年生	2 単位
講師名	齊藤 正人	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
病気の原因、病変の成り立ち、経過及び転帰を理解する。様々な病態に対する理解を習得する。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	病理学とは		
	2	病因論(外因と内因)		
	3	病因論		
	4	退行性病変(変性、萎縮、壊死)		
	5	退行性病変		
	6	進行性病変(肥大、過形成、再生、化生)		
	7	進行性病変		
	8	循環障害(血栓、塞栓、梗塞)		
	9	循環障害		
	10	炎症(非特異性炎、特異性炎、免疫、アレルギー)		
	11	炎症		
	12	炎症		
	13	腫瘍(良性腫瘍、悪性腫瘍)		
	14	先天異常(遺伝子病、配偶子病、胎芽病、胎児病)		
	15	試験対策		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	
	病理学(コメディカルのための専門基礎分野テキスト)	神山隆一	中外医学社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	一般臨床医学	開講学年	2 年生	2 単位
講師名	菅原 和弥/大北 隆治	評価方法	試験	
教科目標				
義肢装具を必要とするのは慢性、難治性の疾患や重症の外傷などで身体的に障害が残った人々である。一般臨床医学では内科系の神経疾患を中心に関連する疾患を概説する。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	診察概論①		
	2	診察概論②		
	3	リウマチ・膠原病・アレルギー		
	4	呼吸器疾患・循環器疾患		
	5	代謝疾患(糖尿病含)・感染症		
	6	老年期疾患・精神疾患		
	7	先天性疾患		
	8	神経学①		
	9	神経学②		
	10	筋疾患・末梢神経障害		
	11	神経変性疾患・脱髄疾患		
	12	脳性麻痺		
	13	脳血管障害		
	14	まとめ		
	15	まとめ		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	
	一般臨床医学-改訂第3版	奈良信雄ほか	医歯薬出版	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	リハビリテーション医学	開講学年	2 年生	2 単位
講師名	田附 満	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
リハビリテーションを中心とした臨床的知識を学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	リハビリの歴史		
	2	廃用症候群		
	3	チーム医療①(理学療法)		
	4	チーム医療②		
	5	機能評価①		
	6	機能評価②(関節拘縮と関節可動域)		
	7	筋力増強訓練		
	8	運動学習		
	9	異常歩行と歩行訓練・失語、執認、失行		
	10	摂食嚥下障害		
	11	排尿障害、高齢者と介護		
	12	脳卒中のリハビリテーション(急性期、維持期)		
	13	脊髄変性疾患、多発性硬化症		
	14	神経筋疾患		
	15	脊髄損傷、関節リウマチ、脳性麻痺		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	理学療法	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	小嶋 唯人	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
リハビリテーションの中心においての理学療法の理解				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	理学療法とは		
	2	運動療法①評価		
	3	運動療法②		
	4	運動療法③		
	5	運動療法①訓練		
	6	運動療法②		
	7	物理療法①		
	8	物理療法②		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
	口頭試問			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	作業療法	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	坂上 哲可	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
作業療法の概要を知り、基本的・応用的な日常動作に必要な作業能力を 図るために必要な医療技術を学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
将来現場に出た時の他職種との連携の大切さについて学んで欲しい。				
講 義 内 容	1	作業療法の概要		
	2	作業療法の流れ(CVAの評価と治療)		
	3	脳血管障害のリハビリテーション		
	4	高次脳機能障害のリハビリテーション		
	5	生活環境整備Ⅰ－福祉用具の活用－		
	6	生活環境整備Ⅰ－住環境整備－		
	7	精神障害者のリハビリテーション		
	8	地域リハビリテーション		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。 授業の始めに前回の授業内容を口頭試問			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	公衆衛生学	開講学年	2 年生	2 単位
講師名	園田 智子	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
集団の健康と疾病予防など公衆衛生の基礎を学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	公衆衛生とは		
	2	健康と環境、疫学的方法		
	3	健康の指標		
	4	感染症の予防①		
	5	感染症の予防②		
	6	感染所の予防③		
	7	食品衛生と栄養		
	8	生活環境の保全①		
	9	生活環境の保全②		
	10	医療の制度		
	11	地域保健活動		
	12	母子保健		
	13	学校保健		
	14	生活習慣病		
	15	精神保健衛生、産業保健		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	機構学	開講学年	2 年生	2 単位
講師名	西村 生哉	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
義肢装具製作に必要な機構(リンク・カム・歯車など)を学ぶ				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	イントロダクション		
	2	対偶・自由度		
	3	四節リンク機構		
	4	カム機構		
	5	摩擦伝導機構		
	6	歯車機構(モジュール)		
	7	万年時計		
	8	歯車機構(圧力角、バックラッシ、インボリュート)		
	9	ねじ1 製図法1		
	10	復習1(4節リンク、歯車)		
	11	動画で機構を確認		
	12	復習		
	13	機構を構成する部品の製図法		
	14	問題演習		
	15	過去問演習		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	装具学Ⅲ	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	小嶋 聡	評価方法	終講試験	
講義				
教科目標				
骨折を理解して適応となる装具を選択できる				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
装具実習Ⅲとのコラボレーション				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
実際と学問の差を理解してほしい				
講 義 内 容	1	オリエンテーション		
	2	骨の構造、機能		
	3	骨折の定義		
	4	骨折の合併症・治療法		
	5	骨折の治療		
	6	上肢の骨折		
	7	下肢の骨折		
	8	骨折のまとめ		
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		装具実習Ⅲ		開講学年		2 年生		1 単位	
講師名		小嶋 聡		評価方法		作品評価			
実習									
教科目標									
骨折用装具の採型手技を理解する									
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？									
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。									
講 義 内 容	1	採型①							
	2	採型②							
	3	採型③							
	4	石膏モデル製作							
	5	モデル修正 DEMO							
	6	モデル修正①							
	7	モデル修正②							
	8	モデル修正③							
	9	プラスチック成型 インナー DEMO							
	10	プラスチック成型 インナー①							
	11	プラスチック成型 外シェルDEMO							
	12	プラスチック成形 外シェル①							
	13	支柱曲げ DEMO							
	14	支柱曲げ①							
	15	アブリ設定 DEMO							
	16	アブリ設定①							
	17	仮合わせ DEMO							
	18	仮合わせ①							
	19	仮合わせ②							
	20	仕上げ評価 DEMO							
	21	仕上げ①							
	22	仕上げ②							
	23	評価							
の理 解 度	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法								
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。								
	※実務経験のある教員等による授業科目となる。								
参 考 書	書籍名				著者		出版社		
	装具学								

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢学Ⅰ	開講学年	2 年生	2 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
下腿義足(PTB,PTS,KBM,TSB 各ソケット)の特徴、義足足部、各部品についての理解。アライメントの意味と調整方法を理解する。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	解剖		
	2	アセスメント		
	3	バイオメカニクス		
	4	ソケットの種類		
	5	採型(PTB)		
	6	修正		
	7	義足の構造		
	8	ベンチアライメント		
	9	正常歩行①		
	10	正常歩行②		
	11	スタティックアライメント		
	12	ダイナミックアライメント		
	13	足部		
	14	TSB		
	15	まとめ		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	義肢学 第2版、 義肢製作マニュアル 他			

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢実習 I	開講学年	2 年生	3 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法		
実習				
教科目標				
PTB下腿義足、TSB下腿義足の採寸・採型から仮合わせまでを行い下腿義足製作の理論と実際に体得する。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	PTB下腿義足、採寸、採型 Demo		
	2	PTB下腿義足、採型練習①		
	3	PTB下腿義足、採型練習②		
	4	PTB下腿義足、採型練習③		
	5	PTB下腿義足 採寸・採型 DEMO（モデルさん来校）		
	6	PTB下腿義足 採寸・採型①（モデルさん来校）		
	7	PTB下腿義足 採寸・採型②（モデルさん来校）		
	8	PTB下腿義足 陽性モデル製作		
	9	陽性モデル修正 DEMO		
	10	陽性モデル修正①		
	11	陽性モデル修正②		
	12	陽性モデル修正③		
	13	ソフトインサート製作		
	14	ラミネーション準備①		
	15	ラミネーション準備②		
	16	ラミネーション準備③		
	17	ソケットラミネーション DEMO		
	18	ソケットラミネーション①		
	19	ソケットラミネーション②		
	20	ソケットラミネーション③		
	21	陽性モデル粉碎		
	22	"		
	23	ソケットトリミング DEMO		
	24	ソケットトリミング①		
	25	ソケットトリミング②		

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢実習 I	開講学年	2 年生	3 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法		

講 義 内 容	26	ソケットトリミング③
	27	カフバンド製作(DEMO)
	28	カフバンド製作①
	29	カフバンド製作②
	30	カフバンド製作③
	31	アライメント調節①
	32	アライメント調節②
	33	ベンチアライメント組立①
	34	ベンチアライメント組立②
	35	ベンチアライメント組立③
	36	ベンチアライメント組立④
	37	適合・評価 Demo (モデルさん来校)
	38	仮合わせと評価 学生Ex.(1) (モデルさん来校)
	39	仮合わせと評価 学生Ex.(2) (モデルさん来校)
	40	仮合わせと評価 学生Ex.(3) (モデルさん来校)
	41	TSB下腿義足,IceCast 採型練習 Demo
	42	TSB下腿義足,IceCast 採型練習①
	43	TSB下腿義足,IceCast 採型練習②
	44	TSB下腿義足採型 IceCast採型法 DEMO
	45	TSB下腿義足採型 IceCast採型法①
	46	TSB下腿義足採型 IceCast採型法②
	47	TSB下腿義足採型 IceCast採型法③
	48	TSB 陽性モデル作成 DEMO
	49	陽性モデル修正①
	50	陽性モデル修正②
	51	陽性モデル修正③
	52	陽性モデル修正④
	53	チェックソケット作成 DEMO
	54	チェックソケット作成①
	55	チェックソケット作成②
	56	チェックソケット作成③
	57	トリミング Demo
	58	トリミング ①
	59	トリミング ②
	60	トリミング ③

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢実習 I	開講学年	2 年生	3 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法		

講 義 内 容	61	ベンチアライメント組立①		
	62	ベンチアライメント組立②		
	63	ベンチアライメント組立③		
	64	ベンチアライメント組立④		
	65	TSB下腿義足 適合・評価	モデル対応	DEMO
	66	TSB下腿義足 適合・評価	モデル対応①	
	67	TSB下腿義足 適合・評価	モデル対応②	
	68	TSB下腿義足 適合・評価	モデル対応③	
	理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法		
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
	※実務経験のある教員等による授業科目となる。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	義肢製作マニュアル			

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	装具学Ⅳ	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	斉藤 宏司	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
上肢の機能を理解し、生体力学に基づいた製作理論、適合方法などを学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	上肢装具総論		
	2	上肢装具の種類①		
	3	上肢装具の種類②		
	4	上肢装具の種類③		
	5	上肢装具の種類④		
	6	上肢装具の種類⑤		
	7	BFO/自助具		
	8	自助具		
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	装具実習Ⅳ	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	斉藤 宏司	評価方法	作品評価	
実習				
教科目標				
上肢装具の採型手技を理解する				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	手関節背屈装具の採型①		
	2	手関節背屈装具の採型②		
	3	手関節背屈装具の修正③		
	4	手関節背屈装具の修正・短対立装具の曲げ加工		
	5	手関節背屈装具プラスチック加工・対立装具加工①		
	6	手関節背屈装具プラスチック加工・対立装具加工②		
	7	手関節背屈装具プラスチック加工・対立装具加工③		
	8	手関節背屈装具プラスチック加工・対立装具加工④		
	9	手関節背屈装具の仮合せと調整・対立装具加工⑤		
	10	手関節背屈装具の仮合せと調整・対立装具加工⑥		
	11	手関節背屈装具の仮合せと調整・対立装具加工⑦		
	12	手関節背屈装具の仮合せと調整・対立装具加工⑧		
	13	手関節背屈装具の仮合せと調整・対立装具評価①		
	14	手関節背屈装具の仮合せと調整・対立装具評価②		
	15	3手関節背屈装具の仮合せと調整・対立装具評価③		
	16	手関節背屈装具の修正、ベルト作成・対立装具評価④		
	17	手関節背屈装具の評価・長対立装具製作①		
	18	手関節背屈装具の評価・長対立装具製作②		
	19	手関節背屈装具の評価・長対立装具製作③		
	20	手関節背屈装具の評価・長対立装具製作④		
	21	長対立装具製作と評価①		
	22	長対立装具製作と評価②		
	23	長対立装具製作と評価③		
の理 把解 握度	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	装具学			

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		特殊装具		開講学年		2 年生		1 単位	
講師名		蠣崎 こず恵		評価方法		作品評価			
実習									
教科目標									
脊柱の機能と構造を理解し、脊柱側彎症について理解する。側彎症の治療に関する基礎を学び矯正装具を理解する。									
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？									
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。									
講 義 内 容	1	側彎症の基礎 脊柱の機能							
	2	側彎症の角度の計測 cobb法の理解							
	3	側彎症の治療							
	4	装具治療の方法							
	5	香港式装具							
	6	採型方法 Demo							
	7	採型方法 ①							
	8	採型方法 ②							
	9	陽性モデル製作①							
	10	陽性モデル製作②							
	11	モデル修正 Demo							
	12	モデル修正①							
	13	モデル修正②							
	14	プラスチックモールド Demo							
	15	プラスチックモールド①							
	16	プラスチックモールド②							
	17	トリミング方法 Demo							
	18	トリミング方法①							
	19	トリミング方法②							
	20	適合方法 Demo							
	21	適合方法①							
	22	適合方法②							
	23	まとめ							
理解度の把握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。								
参考書	書籍名			著者			出版社		
	装具学								

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢学Ⅱ	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	小嶋 聡	評価方法		
講義				
教科目標				
義手(手部,前腕,肘,上腕、肩)ソケットの特徴、使用される部品、義手の機能、構造及び操作方を理解する。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	義手の機能による分類＝「型式」について1		
	2	義手の部品と構成(1)		
	3	上肢切断レベルとそれに対応する義手の「名称」(1)		
	4	前腕義手製作方法(1)		
	5	前腕義手製作方法(2)		
	6	上肢切断レベルとそれに対応する義手の「名称」について(2)		
	7	電動義手について		
	8	その他 手先具交換式義手システム・ハイブリッド式義手・スポーツ用手先具 他		
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	
	義肢学 第2版、 義肢製作マニュアル 他			

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢実習Ⅱ	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	小嶋 聡	評価方法	作品評価	
実習				
教科目標				
前腕義手の製作方法の習得				
前腕義手使用者の動作の理解				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	採型練習DEMO		
	2	採型練習①		
	3	採型練習②		
	4	採型練習③		
	5	採型 モデルA B①		
	6	採型 モデルA B②		
	7	採型 モデルA B③		
	8	採型 モデルA B④		
	9	ソケット製作①		
	10	ソケット製作②		
	11	ソケット製作③		
	12	ソケット製作④		
	13	ソケット製作⑤		
	14	義手組立①		
	15	義手組立②		
	16	義手組立③		
	17	義手組立④		
	18	義手組立⑤		
	19	義手組立⑥		
	20	仮合わせ・評価 A B①		
	21	仮合わせ・評価 A B②		
	22	仮合わせ・評価 A B③		
	23	仮合わせ・評価 A B④		
の理 解 度	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	義肢学第3版			

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢学Ⅲ	開講学年	2 年生	2 単位
講師名	小嶋 聡	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
大腿義足四辺形ソケットのりかいと大腿義足における歩行の理解				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	大腿義足とは		
	2	ソケットと歩行の関係		
	3	膝継手のコントロール①		
	4	膝継手のコントロール②		
	5	股関節の運動		
	6	四辺形ソケット		
	7	四辺形ソケットの各壁の働き		
	8	アライメント		
	9	初期屈曲角		
	10	スタティックアライメント		
	11	ダイナミックアライメント		
	12	膝継手の機能と分類		
	13	断端管理と異常歩行		
	14	ソケット形状		
	15	総まとめ		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	義肢学第2版		澤村誠志	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢装具研究Ⅰ	開講学年	2 年生	2 単位
講師名	小塚 脩平	評価方法	プレゼンテーション評価	
実習				
教科目標				
最終学年を前に自己によるテーマから発表までの工程を経験することでの自己啓発し、研究を通し自己実現の方法を学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	オリエンテーション		
	2	各チームによるテーマ決め及び基礎研究①		
	3	各チームによるテーマ決め及び基礎研究②		
	4	各チームによるテーマ決め及び基礎研究③		
	5	各班テーマによる研究①		
	6	各班テーマによる研究②		
	7	各班テーマによる研究③		
	8	各班テーマによる研究④		
	9	各班テーマによる研究⑤		
	10	各班テーマによる研究⑥		
	11	各班テーマによる研究⑦		
	12	各班テーマによる研究⑧		
	13	各班テーマによる研究⑨		
	14	各班テーマによる研究⑩		
	15	各班テーマによる研究⑪		
	16	各班テーマによる研究⑫		
	17	各班テーマによる研究⑬		
	18	各班テーマによる研究⑭		
	19	各班テーマによる研究⑮		
	20	各班テーマによる研究⑯		
	21	各班テーマによる研究⑰		
	22	各班テーマによる研究⑱		
	23	各班テーマによる研究⑲		
	24	各班テーマによる研究⑳		
	25	各班テーマによる研究㉑		

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		義肢装具研究Ⅰ	開講学年	2 年生	2 単位
講師名		小塚 脩平	評価方法	プレゼンテーション評価	
実習					
講 義 内 容	26	各班テーマによる研究②②			
	27	各班テーマによる研究②③			
	28	各班テーマによる研究②④			
	29	各班テーマによる研究②⑤			
	30	各班テーマによる研究②⑥			
	31	中間発表			
	32				
	33	各班テーマによる研究①			
	34	各班テーマによる研究②			
	35	各班テーマによる研究③			
	36	各班テーマによる研究④			
	37	各班テーマによる研究⑤			
	38	各班テーマによる研究⑥			
	39	各班テーマによる研究⑦			
	40	各班テーマによる研究⑧			
	41	各班テーマによる研究⑨			
	42	各班テーマによる研究⑩			
	43	各班テーマによる研究⑪			
	44	最終プレゼンテーション			
	45				
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法				
	口頭試問				
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。				
参 考 書	書籍名		著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	臨床実習Ⅰ	開講学年	2 年生	4 単位
講師名	各臨床実習指導者	評価方法		
実習				
教科目標				
義肢装具士の行う基本的な業務を実習を通して実践的な知識と技術を学ぶ				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講義内容	15180	各臨床実習施設内において製作業務など実践的業務を学ぶ。		
理解度の把握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
その他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参考書	書籍名	著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	パラスポーツ	開講学年	2 年生	1 単位
講師名	境・齊藤雄・斎藤宏	評価方法	試験	
演習				
教科目標				
①障がい者スポーツ指導あ(初級)として必要な知識や知恵の習得				
②{障がい者スポーツよは?}を説明できるようになる事				
③義肢装具士としての関わり方を考える事				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	障がい者スポーツの意義と理念		
	2	ICIDHとICF		
	3	障害受容のプロセス		
	4	障がい者との対応(ボランティア論)		
	5	障がい者スポーツの歴史(海外・国内)全国障がい者スポーツ大会		
	6	アダプテッドスポーツという概念と方向性		
	7	様々な障がい者スポーツ		
	8	まとめテスト		
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	
	義肢学第2版	澤村誠志		

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		整形外科	開講学年	3 年生	3 単位
講師名		五十嵐 未奈	評価方法	試験	
講義					
教科目標					
整形外科による治療法診断法を理解し、義肢装具士の役割をしる。					
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？					
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。					
講 義 内 容	1	整形外科とは			
	2	運動器疾患の診断			
	3	運動器治療			
	4	外傷・骨折			
	5	解放骨折・感染			
	6	運動器感染症			
	7	慢性関節疾患			
	8	関節リウマチ			
	9	肩に関わる疾患			
	10	肩・肘に関わる疾患			
	11	前腕・手関節に関わる疾患			
	12	手部に関わる疾患			
	13	股関節・大腿部に関わる疾患			
	14	膝関節疾患			
	15	足部に関わる疾患			
	16	脊椎・脊髄疾患			
	17	脊椎・脊髄疾患			
	18	脊椎・脊髄疾患			
	19	末梢神経障害			
	20	代謝障害			
	21	骨腫瘍・軟部腫瘍			
	22	スポーツ整形			
	23	まとめ			
の理 把解 握度	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法				
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。				
参 考 書	書籍名		著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	福祉用具講座		開講学年	3 年生	1 単位
講師名	小塚 脩平		評価方法	試験	
演習					
教科目標					
義肢装具装着者が自立して日常生活を営む実社会に存在するバリアを認識し、					
そのバリアを解消するためにはどのような視点や知識を持たねばならないかを学ぶ。					
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？					
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。					
講 義 内 容	1	福祉用具体験(コミュニケーションエイド、移動用リフトなど)			
	2	福祉用具体験(コミュニケーションエイド、移動用リフトなど)			
	3	福祉用具の基本(基本用語、制度など)			
	4	福祉用具の基本(基本用語、制度など)			
	5	移動の福祉用具(車椅子)			
	6	移動の福祉用具(車椅子)			
	7	移動の福祉用具(歩行器、杖)			
	8	福祉用具体験(車椅子、杖、歩行器など)			
	9	排泄・入浴の福祉用具			
	10	起居・就寝の福祉用具			
	11	自助具			
	12	座位保持装置・電動車いす			
	13	個人ワーク(オリジナル福祉用具考案)			
	14	個人ワーク(オリジナル福祉用具考案)			
	15	発表会 & 国家試験対策			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法				
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。				
参 考 書	書籍名		著者	出版社	
	改訂3版 福祉住環境コーディネーター 検定試験 3級公式テキスト		東京商工会議所・編	東京商工会議所 検定センター	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	関係法規	開講学年	3 年生	1 単位
講師名	斎藤 宏司	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
義肢装具士として就業するについての必要な法律と知識の習得を目的とする。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	健康とは 医療衛生法規		
	2	業務独占と名称独占		
	3	義肢装具士法①		
	4	義肢装具士法②		
	5	障害者総合支援法① 身体障害者手帳の交付		
	6	障害者総合支援法② 日常生活とスポーツ		
	7	健康保険について		
	8	介護保険法		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	制御工学	開講学年	3年生	1 単位
講師名	西村 生哉	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
制御工学の基礎を学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	イントロダクション		
	2	シーケンス制御・フィードバック制御		
	3	制御要素		
	4	ブロック線図		
	5	ブロック線図の等価変換		
	6	制御の安定性		
	7	半導体・PM接合		
	8	ステップ入力に対する応答		
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢装具工学	開講学年	3 年生	2 単位
講師名	関川・八幡	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
義肢装具に関わる機構学、制御工学などを体系的に理解する。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	福祉機器の開発、インテリジェント義足について		
	2	義足膝継手の構造		
	3	膝継手の調整		
	4	義足パーツのアフターケア		
	5	工学とは		
	6	力学と単位		
	7	グラフの読み取り、床反力について		
	8	装具の機能と歩行1		
	9	装具の機能と歩行2		
	10	義肢装具と余暇活動		
	11	義肢装具の部品の特性		
	12	モジュラー義足の構成		
	13	義足パーツの調整方法		
	14	義足部品の開発1		
	15	義足部品の開発2		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	装具学Ⅴ	開講学年	3 年生	1 単位
講師名	小塚 脩平	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
足部の構造を理解し疾患や変形に応じた靴型装具装具の理論や製作方法について学ぶ				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	オリエンテーション 靴型装具と整形靴、特殊靴		
	2	整形靴、特殊靴の採型方法 足部の運動学		
	3	靴型装具の構成要素		
	4	ソールの補正について		
	5	足底の補正		
	6	ラストの設計法		
	7	整形靴・特殊靴の修正法		
	8	足部の変形、疾患		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		装具実習Ⅴ		開講学年		3年生		1単位	
講師名		富金原 敦		評価方法		作品評価			
実習									
教科目標									
靴型装具の成形法、デザイン、カッティングパターン、 製靴法を習得する。									
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？									
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。									
講 義 内 容	1	ガイダンス、オリエンテーション							
	2	採型・採寸法DEMO							
	3	採型・採寸法①							
	4	採型・採寸法②							
	5	靴型装具の構造							
	6	靴型装具の材料							
	7	適応疾患							
	8	CAD/CAMの採型法							
	9	チェックシューズ製作法DEMO							
	10	チェックシューズ製作法①							
	11	チェックシューズ製作法②							
	12	チェックシューズ製作法③							
	13	チェックシューズ仮合わせDEMO							
	14	チェックシューズ足底加工DEMO							
	15	チェックシューズ足底加工①							
	16	チェックシューズ足底加工②							
	17	チェックシューズ仮合わせ①							
	18	チェックシューズ仮合わせ②							
	19	つり込み①							
	20	つり込み②							
	21	仕上げ①							
	22	仕上げ②							
	23	評価、プレゼン							
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。								
参 考 書	書籍名			著者			出版社		
	装具学								

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		装具実習Ⅵ		開講学年		3 年生		1 単位	
講師名		蠣崎 こず恵		評価方法		作品評価			
実習									
教科目標									
立位と足部の関係を理解し、足部疾患や全身の疾患と足底板の関係を理解する。									
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？									
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。									
講 義 内 容	1	足の構造と足底板の構造 UCBL							
	2	UCBLの採型方法							
	3	UCBLの修正							
	4	UCBLのモールド①							
	5	UCBLのモールド②							
	6	UCBLの適合①							
	7	UCBLの適合②							
	8	インソールの考え方							
	9	トリシャムの採型方法							
	10	陽性モデル作製①							
	11	陽性モデル作製②							
	12	フットベット陽性モデル修正①							
	13	フットベット陽性モデル修正②							
	14	フットベット陽性モデル修正③							
	15	フットベット陽性モデル修正④							
	16	フットベット陽性モデル修正⑤							
	17	底材の考え方							
	18	底材モールド①							
	19	底材モールド②							
	20	底材モールド③							
	21	底材モールド④							
	22	適合・評価①							
	23	適合・評価②							
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法								
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。								
	※実務経験のある教員等による授業科目となる。								
参 考 書	書籍名				著者		出版社		
	装具学								

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		装具実習Ⅶ		開講学年		3 年生		1 単位	
講師名		引地・関川・林		評価方法		試験			
実習									
教科目標									
車いすとシーティング・座位保持装置について学ぶ									
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？									
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。									
講 義 内 容	1	座るということ							
	2	不良座位と座位の評価・座位保持パーツ							
	3	座位保持装置装置の作成法							
	4	座位保持・シーティングにおけるPOの役割							
	5	車椅子の構造・名称・機能・各部の寸法							
	6	車椅子製作例・多様な車いす							
	7	オーダーメイドの必要性和採寸・発注方法							
	8	国内・国際学会展示会等での動向							
	9	適合士としての義肢装具士の役割							
	10	高齢者福祉施設における車いすの現状と課題①							
	11	高齢者福祉施設における車いすの現状と課題②							
	12	適合支援と評価の重要性(実践)①							
	13	適合支援と評価の重要性(実践)②							
	14	適合支援と評価の重要性(実践)③							
	15	適合支援と評価の重要性(実践)④							
	16	適合支援と評価の重要性(実践)⑤							
	17	車いすと二次障害、骨盤後傾の問題と対応							
	18	骨盤片側への傾きによる問題と対応							
	19	床ずれ対策再発防止、シーティングの評価、体験							
	20	座位の保持から快適なシーティングへ①							
	21	座位の保持から快適なシーティングへ②							
	22	座位の保持から快適なシーティングへ③							
	23	座位の保持から快適なシーティングへ④							
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法								
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。								
参 考 書	書籍名				著者		出版社		
	シーティング入門								

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		義肢実習Ⅲ		開講学年		3 年生		2 単位	
講師名		西川 利幸		評価方法		作品評価			
実習									
教科目標									
吸着式大腿義足(四辺形ソケット)の採型、修正、製作を学ぶ。アライメント調整方法適合学について学ぶ。									
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？									
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。									
講 義 内 容	1	四辺形ソケットについて①							
	2	四辺形ソケットについて②							
	3	四辺形ソケット採型練習 Demo							
	4	四辺形ソケット採型練習 学生①							
	5	四辺形ソケット採型練習 学生②							
	6	四辺形ソケットモデル採型 Demo							
	7	四辺形ソケット採型 モデル採型①							
	8	四辺形ソケット採型 モデル採型②							
	9	四辺形ソケット採型 モデル採型③							
	10	四辺形ソケット採型 モデル採型④							
	11	陽性モデル修正 Demo							
	12	陽性モデル修正①							
	13	陽性モデル修正②							
	14	陽性モデル修正③							
	15	陽性モデル修正④							
	16	陽性モデル修正⑤							
	17	陽性モデル修正⑥							
	18	陽性モデル修正⑦							
	19	陽性モデル修正⑧							
	20	陽性モデル修正⑨							
	21	プラスチック成型 チェックソケット製作 Demo							
	22	プラスチックモールド チェックソケット製作①							
	23	プラスチックモールド チェックソケット製作②							
	24	プラスチックモールド チェックソケット製作③							
	25	プラスチックモールド チェックソケット製作④							

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢実習Ⅲ	開講学年	3 年生	2 単位
講師名	西川 利幸	評価方法	作品評価	

講 義 内 容	26	トリミング 吸着バルブ取付け Demo		
	27	トリミング 吸着バルブ取付け ①		
	28	トリミング 吸着バルブ取付け ②		
	29	トリミング 吸着バルブ取付け ③		
	30	トリミング 吸着バルブ取付け ④		
	31	支持部製作		
	32	支持部製作		
	33	支持部製作		
	34	支持部製作		
	35	支持部製作		
	36	ベンチアライメント		
	37	ベンチアライメント Demo		
	38	ベンチアライメント①		
	39	ベンチアライメント②		
	40	ベンチアライメント③		
	41	ベンチアライメント④		
	42	適合・評価 モデル対応 DEMO		
	43	適合・評価 モデル対応①		
44	適合・評価 モデル対応②			
45	適合・評価 モデル対応③			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
	※実務経験のある教員等による授業科目となる。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢学Ⅳ	開講学年	3 年生	2 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法	試験	
講義				
教科目標				
1. IRCソケットと四辺形ソケットの違いを説明できる				
2. IRCソケットの採型、修正を実演できる				
3. 大腿義足の異常歩行の発見、原因、解決方法を説明できる				
4. 膝継手の種類を機能、適応に沿って分類できる				
5. 股義足、膝義足、足根義足の基本概念を説明できる				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	Introduction		
	2	四辺形ソケットとIRCソケットの違い		
	3	IRCソケットの採寸、採型		
	4	IRCソケットの修正		
	5	アライメント		
	6	正常歩行(Normal Gait)		
	7	異常歩行(Gait Deviation) ①		
	8	異常歩行(Gait Deviation) ②		
	9	懸垂		
	10	膝継手		
	11	評価(アセスメント)		
	12	股義足		
	13	膝義足		
	14	足根義足		
	15	まとめ		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名	著者	出版社	
	義肢学第2版	澤村誠志		

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢実習Ⅳ	開講学年	3 年生	2 単位
講師名	西川 幸利	評価方法	作品評価	
実習				
教科目標				
IRCソケットの採型、修正、製作を学ぶ。アライメント調整方法について学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	IRCソケット理論①		
	2	IRCソケット理論②		
	3	IRCソケット採型練習 DEMO		
	4	IRCソケット採型練習 学生①		
	5	IRCソケット採型練習 学生②		
	6	IRCソケットモデル採型 Demo		
	7	IRCソケット採型 モデル採型①		
	8	IRCソケット採型 モデル採型②		
	9	IRCソケット採型 モデル採型③		
	10	IRCソケット採型 モデル採型④		
	11	陽性モデル修正 Demo		
	12	陽性モデル修正①		
	13	陽性モデル修正②		
	14	陽性モデル修正③		
	15	陽性モデル修正④		
	16	陽性モデル修正⑤		
	17	陽性モデル修正⑥		
	18	陽性モデル修正⑦		
	19	陽性モデル修正⑧		
	20	陽性モデル修正⑨		
	21	プラスチック成型 チェックソケット製作 Demo		
	22	プラスチックモールド チェックソケット製作①		
	23	プラスチックモールド チェックソケット製作②		
	24	プラスチックモールド チェックソケット製作③		
	25	プラスチックモールド チェックソケット製作④		

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢実習Ⅳ	開講学年	3 年生	2 単位
講師名	西川 幸利	評価方法	作品評価	

講 義 内 容	26	トリミング 吸着バルブ取付け Demo		
	27	トリミング 吸着バルブ取付け ①		
	28	トリミング 吸着バルブ取付け ②		
	29	トリミング 吸着バルブ取付け ③		
	30	トリミング 吸着バルブ取付け ④		
	31	支持部製作		
	32	支持部製作		
	33	支持部製作		
	34	支持部製作		
	35	支持部製作		
	36	ベンチアライメント		
	37	ベンチアライメント Demo		
	38	ベンチアライメント①		
	39	ベンチアライメント②		
	40	ベンチアライメント③		
	41	ベンチアライメント④		
	42	適合・評価 モデル対応 DEMO		
	43	適合・評価 モデル対応①		
44	適合・評価 モデル対応②			
45	適合・評価 モデル対応③			
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	義肢学第3版			

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名		義肢学Ⅴ		開講学年		3 年生		1 単位	
講師名		小嶋 聡		評価方法		試験			
講義									
教科目標									
能動義手の理論、製作、適合を理解する。									
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？									
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。									
講 義 内 容	1	採寸 採型学							
	2	ソケットの種類							
	3	肘継手の構造							
	4	上腕義手チェックアウト							
	5	上腕義手アウト 肘義手について							
	6	肩義手について 採寸～構造							
	7	肩義手について 採寸～構造							
	8	肩義手について チェックアウト							
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。								
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。								
参 考 書	書籍名				著者		出版社		

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢実習Ⅴ	開講学年	3 年生	1 単位
講師名	小嶋 聡	評価方法	作品評価	
実習				
教科目標				
上腕義手の製作方法を適合方法及び操作方法を学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	学生による採型練習①		
	2	学生による採型練習②		
	3	採寸と採型①		
	4	採寸と採型②		
	5	採寸と採型③		
	6	陽性モデル製作		
	7	モデル修正①		
	8	モデル修正②		
	9	前腕部製作		
	10	モデル修正③		
	11	ラミネーション①		
	12	ラミネーション②		
	13	前腕部修正		
	14	蜜ろう流し		
	15	蜜ろう修正①		
	16	蜜ろう修正②		
	17	ラミネーション①		
	18	ラミネーション②		
	19	石膏割り出し		
	20	組み立て①		
	21	組み立て②		
	22	ハーネス準備		
	23	適合		
の理 解 度	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	(例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	義肢学第3版			

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	特殊義足	開講学年	3 年生	1 単位
講師名	小嶋 聡	評価方法	試験	
演習				
教科目標				
股義足の採型・製作・適合を学ぶ。				
足根義足の採型・製作・適合を学ぶ。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	股義足採型		
	2	股義足修正		
	3	股義足ソケットラミネーション方法①		
	4	股義足ソケットラミネーション方法②		
	5	股義足ソケットラミネーション方法③		
	6	トリミング		
	7	ベンチアライメント		
	8	スタティックアライメント・ダイナミックアライメントの考え方		
	9	足根義足特徴		
	10	足根義足の採型		
	11	足根義足の修正		
	12	プラスチックモールド・		
	13	皮革縫製①		
	14	皮革縫製②		
	15	足根義足適合		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法 (例)○コマ終了後の中間テスト、口頭試問、レポートなど。			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社
	義肢学第2版		澤村誠志	

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢装具研究Ⅱ	開講学年	3 年生	3 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法	研究論文評価	
実習				
教科目標				
3年間の集大成としての研究である。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	オリエンテーション①(構成・進め方)		
	2	オリエンテーション②(論文の書き方)		
	3	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	4	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	5	初期発表Review		
	6	初期発表		
	7	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	8	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	9	初期発表Review		
	10	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	11	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	12	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	13	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	14	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	15	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	16	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	17	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	18	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	19	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	20	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	21	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	22	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	23	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	24	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		
	25	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ		

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢装具研究Ⅱ	開講学年	3 年生	3 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法	研究論文評価	

講 義 内 容	26	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ
	27	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ
	28	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ
	29	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ
	30	各班による義肢装具研究Ⅰの結果から手直しデータのまとめ
	31	中間発表①
	32	中間発表②
	33	中間発表③
	34	各班による結果と考察
	35	各班による結果と考察
	36	各班による結果と考察
	37	各班による結果と考察
	38	各班による結果と考察
	39	各班による結果と考察
	40	各班による結果と考察
	41	各班による結果と考察
	42	各班による結果と考察
	43	各班による結果と考察
	44	各班による結果と考察
	45	各班による結果と考察
	46	各班による結果と考察
	47	各班による結果と考察
	48	各班による結果と考察
	49	各班による結果と考察
	50	各班による結果と考察
	51	各班による結果と考察
	52	各班による結果と考察
	53	各班による結果と考察
	54	各班による結果と考察
	55	各班による結果と考察
	56	各班による結果と考察
	57	各班による結果と考察
	58	各班による結果と考察
	59	各班による結果と考察
	60	各班による結果と考察

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢装具研究Ⅱ	開講学年	3 年生	3 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法	研究論文評価	

講 義 内 容	61	最終データまとめ		
	62	最終データまとめ		
	63	最終データまとめ		
	64	最終データまとめ		
	65	最終報告会①		
	66	最終報告会②		
	67	最終報告会③		
	68	最終報告会④		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	義肢装具研究Ⅲ	開講学年	3 年生	1 単位
講師名	板垣 亮太	評価方法	試験	
演習				
教科目標				
義肢装具士に必要な知識・技術についての理解度を客観的に評価し国家試験に対応できる力を習得する。				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1	オリエンテーション		
	2	症例理解(文献検索・インターネット検索)		
	3	症例理解(文献検索・インターネット検索)		
	4	症例理解(文献検索・インターネット検索)		
	5	義肢装具理解(文献検索・インターネット検索)		
	6	義肢装具理解(文献検索・インターネット検索)		
	7	義肢装具理解(文献検索・インターネット検索)		
	8	義肢装具理解(文献検索・インターネット検索)		
	9	レポート作成		
	10	レポート作成		
	11	ブレースカンファレンス(ディスカッション)		
	12	ブレースカンファレンス(ディスカッション)		
	13	ブレースカンファレンス(ディスカッション)		
	14	ブレースカンファレンス(ディスカッション)		
	15	プレゼンテーション		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
	総合試験			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社

＜2023年度 義肢装具士学科 シラバス＞

科目名	臨床実習Ⅱ	開講学年	3 年生	6 単位
講師名	各臨床実習指導者	評価方法		
実習				
教科目標				
義肢装具士の行う基本的な業務を実習を通して実践的な知識と技術を学ぶ				
この科目の位置付け。これまでの何(科目、実習など)につながり、これからの何につながるか？				
この科目に期待してほしいこと。教員、講師の思い。				
講 義 内 容	1 5 2 7 0	各臨床実習施設内において製作業務など実践的業務を学ぶ。		
理 解 度 の 把 握	小テスト以外に到達度、理解度の確認を行う方法			
そ の 他	この授業を受けるにあたり、あらかじめ周知してほしいこと。			
参 考 書	書籍名		著者	出版社